

シカゴ大学短期留学記

~Lifetime workを持つことの大切さ~

田中利恵 金沢大学大学院医学系研究科

画像分科会の皆さん，こんにちは．田中利恵です．学生の頃，この画像分科会デビューしてから7年が経ちました．時間の経過って，本当に早いですね．そして，昨年，ずっと目標だった「シカゴ大学への留学」が叶いました．留学によって，様々なことに気付き，また，学ぶことができました．シカゴ大学での留学体験の詳細は，日本放射線技術学会雑誌に掲載予定です．是非，そちらをご覧ください．ここでは，留学にまつわる「ちょっとした裏話」を報告させていただきます．

Lifetime workを持つことの大切さ

留学するには，学位があったほうがいい（それなら，大学院に行こう）．学位の取得は，インパクトファクターの高い論文がたくさんあると早いらしい（金沢大学の場合，合計3以上必要とのこと．よし，それに挑戦だ！）．インパクトファクターの高い論文雑誌にアクセプトされるには，良い仕事（＝研究）をしなくてはいけない．良い仕事をするには，努力と時間が必要である（とにかく，がんばろう！適正を祈りつつ...）．人脈と情報もあったほうが良さそうだ．それらを得るには，学会に行くのが手っ取り早い（手当たり次第，行ってみよう！）．しかし，学会に行くにはお金が要る．お金は，研究助成金制度に応募するのが正攻法のような（おっと，宝くじよりも当たる確率が高いみたい！）etc...

ちょっと，話がずれました．何が言いたかったかというところ，「シカゴ大学への留学」という目標があったおかげで，多くの出会いに恵まれ，素晴らしい経験をすることができたということです．目標を果たしてふと振り返ってみると，目標を持つことの大切さと，その効力の大きさに気が付きました．今回の留学でも，一流の仕事は「役立つものを世に出したい」という強い気持ちによって生み出されているのだと感じました．そして今，次なる目標「Lifetime work（生涯の仕事）」を探しています．目先の業績ではなく，生涯かけて打ち込むことができる，信念のようなものです．自分のためではなく，人のための何かです．その目標が大きいほど，大きな原動力となるでしょう．Lifetime workを持つ大切さ，それに気が付けたことが，実は一番の収穫なのかもしれません．

英語は「発音」と「口の形」が大切

シカゴに来て1週間経ったころ，サンダーストーム（激しい暴風雨のこと）で，キッチンのブレーカーが落ちたことがありました．アパートの管理会社に，復旧依頼の電話をかけたも，なかなか伝わりません．また，配達業者に荷物の再配達を，電話で依頼しなくては

いけないことがあったのですが、住所と希望日時を伝えるのに非常に苦労しました。電話は、身振り手振りで説明できないので、意思の疎通が大変ですよね。こんな調子で、最初の1ヶ月は、“I don't know what you mean.”と、言われ続けました。原因の1つは、「発音の悪さ」にあったようです（そればかりではないかもしれませんが...）。そのことに気が付いたのは、シカゴで週2日通っていた英会話教室でのことでした。ここでは、フランス・ドイツ・ロシア・タイ・韓国・メキシコなど様々な国の人に出会うことができました。彼らの話す英語の文法は、極めて怪しいものでした。しかし、ペラペラと実によくしゃべり、先生との意思の疎通もよくできていました。英語を話す上においては、「発音」と「口の形」が非常に大切なようです（それと「度胸」）。日本語は、他の言語に比べ音の種類がきわめて少ないそうです。発音できなければ聞き取ることができません。そして、その時点で会話は終了してしまいます。一見奇妙な「アメリカでの英会話教室通い」も、英会話の独学に行き詰まりを感じていた私にとって非常に良い刺激になりました。受験英語で育った皆さん、英語は「発音」と「口の形」が大切みたいです。

アメリカのここが好きになりました

アメリカに住む人達は、イベントや家族との時間をとても大切にしているように感じました。特に、イベントに対する気合の入れ方は半端ではありません！留学期間中にちょうどHalloweenとThanksgiving dayがあったのですが、大人から子供までみんなが楽しんでいました。時間は平等に与えられているわけだから、時間の使い方が上手なのかもしれません。ここ数年、季節やイベントを楽しむだけの気持ちのゆとりがなかった私にとって、彼らの姿はとても新鮮に写りました。事務処理にミスが多いし、バスは時間どおりにこないし、料理は大味な国だけど、なんだか人間らしくていいと思いました。

また、食べ物では、メキシコ料理のBurrito(ブリート)が大好きになりました。これは、Tortilla(トルティーヤ)という小麦(もしくはとうもろこし)でできた薄い皮に、豆・野菜・肉・チーズ・アボガドサラダなどを包んだ料理です。毎週末のように、ダウントウンにあるお店に通い詰めました(<http://www.chipotle.com/>)。中身を自分で選んで、その場で作ってもらうことができ、ドリンクをつけても6~7ドルくらいです。機会があれば、是非、お試してください！

以上が、今回のシカゴ留学にまつわる裏話です。まだ「裏」があるんじゃないかって？さて、どうでしょう？今まで感じたことがないような、熱~い視線を感じて目が覚めたり、夜遅くに帰宅したらアパートのドアが開かなくなっていたり、滞在日数きっちり持参したはずの綿棒が、帰国前になくなったりetc. この続きは、次の機会にお話させていただきます。最後まで目を通していただき、ありがとうございました。